

別子山公民館 令和7年6月号

令和7年度 別子校区総合防災訓練実施

5月18日午前9時から別子山公民館大ホールにおきまして、別子校区総合防災訓練を実施いたしました。今年度は、別子校区自主防災組織と別子小中学校が共催で行いましたところ、60名以上の皆様にご参加いただきました。

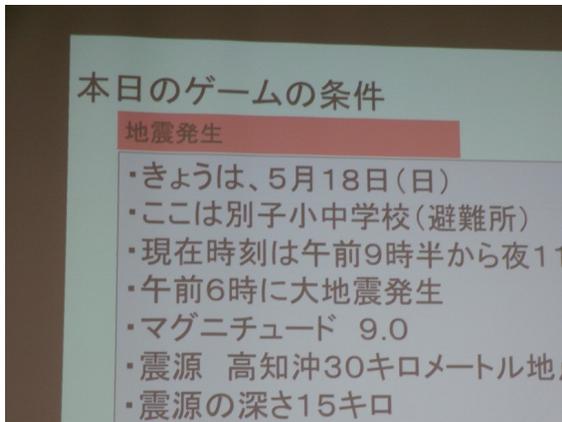
訓練は「新居浜市防災士ネットワーク」の皆様を講師にお招きし、「避難所運営ゲーム（HUG）」（避難所の運営を模擬体験できるゲーム）を実施いたしました。

避難所の運営は、よほどのことがない限り体験することはありませんが、これまで1995年1月発生の阪神淡路大震災や2011年3月発生の東日本大震災、2016年発生の熊本地震や最近では、2024年の能登半島地震と各地で大きな地震被害がみられ、他にも豪雨災害の発生で、多くの皆さんが避難生活を余儀なくされるなど、避難所の存在・重要性は日々高まっているのが現状です。

近い将来発生が予想されている南海トラフ地震や激甚化する豪雨による被害を最小限に抑えるため、あらゆる自然災害に対して“自分の命は自分で守る”“自分の地域は自分達で守る”をスローガンに訓練をスタートする事が出来ました。訓練では、避難者の情報が書かれたカードを避難所に見立てた平面図に配置し、避難所での様々な出来事に対応し、運営のノウハウを学ぶことが目的で、この日も8グループに分かれ、避難者の事情が記されたカードの内容に沿って、滞ることなくテキパキと避難所での行動や配置を決定し、対処行動に結び付けておられました。

避難所は、どこも同じとはいえず、市街地と別子山の様な山間地と言う条件面の違いがございますので、実際はその地域に合った対処行動が必要となってまいりますし、その判断が必要です。

その時々何事も決めた通りに事は運びませんし、常に柔軟な対応で、すべてに優しく対応する事が必要であると私自身感じております。今回は、何より学校と地域のフラットな関係を築くことが出来ましたし訓練を通して安全安心な地域づくりに一層努めたいと感じました。ご参加された皆様、本当にありがとうございました。



令和7年度 地域教育力向上プロジェクト推進事業

講座名	実施時期	主な内容
・切り干し大根 ・ようかん作り	6月 1月	様々な地域文化（食文化）につきましては、地域ならではの作り方や味があります。その文化を受継ぎ残す活動を展開します。
別子校区秋季大運動会	9月7日	地域と学校の連帯感を深める活動として長年行われております。住民の活動意識の向上を図り、地域内外との人的交流を図ることを目的に実施いたします。
三世代交流餅つき	12月21日	地域の子供から大人まで三世代が交流しおもちつきを行う事で、世代を超えた交流が深まることを目的とする。
その他：団体との共同事業		
魚つかみ大会	7月27日	別子山地域の自然に親しむことを目的に、銅山川を利用して魚（アメゴ・マス）を放流し、つかみ合う自然ならではの事業を予定しております。
地区別人権教育講座	10月	地域住民の人権意識の高揚と差別意識の解消を図り、身近な生活の場で人権尊重の精神を養う。
別子校区産業文化祭	11月	産業の部では、各種農林産物の展示や販売会 文化の部では、個人の作品で未発表の絵画・写真・手芸品・創作品などの展示 （昨年同様に、軽食販売ブースも予定しております。）

・・・がけ崩れ防災週間・・・

6月1日から一週間は「がけ崩れ防災週間」です。
土砂災害の防災意識を高めるための期間です。

また、6月は「土砂災害防止月間」でもあり、梅雨や台風の時期に備えて、土砂災害の被害軽減に取り組むための様々な活動が行われます。

・6月1日～6月7日「がけ崩れ防災週間」

- ・土砂災害の危険性に関する知識を深め、避難行動や備蓄の準備などを促すための期間です。
- ・土砂災害による人命や財産の被害を防止することを目的としています。
- ・ハザードマップの確認や避難場所のチェック、食料や水など備蓄品の準備など、具体的な防災対策を検討する良い機会です。

・6月の「土砂災害防止月間」

- ・梅雨や台風の時期に起こりやすい土砂災害に備え、国民一人一人の防災意識を高めるための月間です。
- ・国土交通省を中心に、土砂災害に関する情報提供や啓発活動、防災訓練などが実施されます。
- ・土砂災害などの危険性や防災対策の重要性を改めて認識しより安全な生活を送るための意識を高める機会となります。

令和7年度 まちづくりタウンミーティング開催予定

生活に身近な課題や地域のあるべき姿等について地域の皆さんと市長が直接対話を行う場です。

別子校区の開催日時・場所は次の通りです。

開催日時：令和7年7月11日（金）

19:00～20:30

開催場所：別子山公民館

校区課題の提出期限は6月23日（月）となっておりますのでよろしくお願い致します。

主事補の独り言

皆さん、こんにちは、別子山公民館の小山でございます。風邪や花粉の影響ではないと思うのですが、5月に入ってから数日間喉が腫れたり咳が出たりと体調の優れない日々を過ごしておりましたが、下旬に差し掛かり気温が上がってくるのにあわせ身体の調子も良くなってきたように感じております。季節の変わり目ということだけで結論付けていいものか、老化が始まった自分と真剣に向き合わなければいけないのか等々、あれこれ考える今日この頃ですが皆様は如何お過ごしでしょうか、老化と言えば身体の話ばかりではありません。先週、家の屋根上に登り錆びた板金部分をペンキで塗装していたら、外壁の焼杉板が経年劣化により剥がれ、内部の土壁が露出している箇所が見つかりました。修理用の材料はホームセンターにおいてあり道具も揃っているので、自分で新しい焼杉板に張替えること自体は、さほど難しくないと想定しているのですが、問題は足場の悪い屋根上の狭い作業空間しか確保できない場所で、張替え作業にあたりエアコンの室外機とインターネット用の光ケーブルを一時的に移設しなければならない点です。素人には面倒ですが、業者の方に頼むと時間も、お金もかかるので自分でやってみるつもりです。梅雨入り前にできると嬉しいな(おわり)。



市営住宅入居者募集（申込み）

市営住宅への入居者を次のとおり募集します。

■配布期間：令和7年6月2日（月）～令和7年6月16日（月）

■申込期間：令和7年6月2日（月）～令和7年6月16日（月）

※申込は窓口のみになります（郵送、メール不可）。

■募集団地：①南小松原、②桜木、③高津、④城下、⑤新田、

⑥新田第二、⑦北新町、⑧西の土居、⑨新須賀、

⑩泉宮、⑪西原、⑫治良丸南、⑬治良丸、

⑭横山南、⑮横山北、⑯松原、⑰東田

※詳細は館内掲示物、新居浜市営住宅管理グループホームページ、市政だより、新居浜市営住宅管理グループで配布している、市営住宅入居者募集要領をご確認ください。

■申込条件：市営住宅入居者募集要領にてご確認ください。

■問合せ・申込先：新居浜市営住宅管理グループ

〒792-0025

新居浜市一宮町一丁目6番37号 横山ビル1階

☎0897-47-5218

移動図書館『青い鳥号』運行のお知らせ

移動図書館「青い鳥号」が今月も、別子山地区にやってきます。みなさん是非ご利用ください。

6月19日（木）に巡回します。

別子小中学校 13:00～14:00

※本を借りる場合は「図書館カード」が必要です。

※1人10冊まで借りる事ができます。

その他分からないことは、図書館員におたずねください。



新居浜市立図書館

TEL 0897-32-1911



今年も、気候の変化に身体がついていきません。本当に季節感がなくなってきました。

皆様いかがお過ごしでしょうか？

日本列島では、30℃超えの真夏日を記録したところも出ました。温暖化の影響ですかねえ、まだ5月ですよ!!

もうじき梅雨入りも考えられますが、例年ですと四国地方は6月5日頃ですが、昨年は6月17日と10日以上も遅く梅雨入りしたようです。水不足解消のためには少しでも早く梅雨入りが望まれますが、ジメジメムシムシの日々が始まりそうです。

さて、先日は校区の総合防災訓練が実施されましたが、学校と共同開催と言う事で多くの皆様にご参加ご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

避難所運営ゲームの実施では、皆さん時間を忘れるほど集中され、本来の目的（・災害時の行動をイメージ・避難所で生き残り支えあう行動を学ぶ・避難所運営を疑似体験する）等を達成できたのではないかと非常に感心いたしました。

季節も夏に向けて駆け足で進行中です。別子山では朝晩はまだまだヒンヤリと冷えこみますので、注意が必要です。

あわてて薄着をしないように、無理せず気候に合わせた服装を心がけ、体調管理には万全を期してお過ごしください。

お身体を大切にして、無理はダメ!!